

初回公表日：2025年11月5日

# ユニオンビズ株式会社 DX推進の方針・取組

unionbiz  
ユニオンビズ株式会社

# DX推進に向けた基本方針

ユニオンビズ株式会社は、「生活をアクティブに」という企業理念のもと、デジタル技術の積極的な活用により、より高品質で持続可能なサービスの提供を目指しています。

エクステリア業界は、施工・物流・販売など多くの工程を伴うアナログな業務体制が多く残されています。

当社は、この構造をデジタルの力で変革し、社員一人ひとりがデータを活かして行動できる企業文化の確立を目指します。



# DX推進の目的

## ▶ 業務効率化と生産性向上

受発注・在庫・出荷・顧客管理などの主要業務をデジタル化し、社内外の情報共有をリアルタイム化します。

## ▶ 顧客価値の最大化

取引先とのデータ連携を進め、最適な製品提案や施工サポートを実現します。

## ▶ データ経営の実現

販売・物流・品質・人事などのデータを統合し、経営判断を可視化・迅速化する体制を構築します。

## ▶ 社員のデジタルリテラシー向上

全社員がデジタルツールを活用できるよう、教育・研修を継続的に実施します。

# DX推進体制

- ▶ DX推進責任者（CIO）：代表取締役
- ▶ DX推進委員会：各部署リーダーによる横断チームを構成
- ▶ 推進サイクル：「計画 → 実行 → 評価 → 改善（PDCA）」のデジタル運用を確立



# 主な取組内容

取組分野	取組内容	効果
①業務プロセスDX	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 受発注管理システムのクラウド化</li><li>・ 電子請求・電子契約の導入</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 紙業務削減</li><li>・ リードタイム短縮</li></ul>
②販売・顧客DX	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 顧客管理（CRM）の活用</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 顧客対応の精度向上</li><li>・ 提案営業強化</li></ul>
③製品・品質DX	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 顧客からの品質情報のデジタル活用</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 不具合傾向を分析し製品改善</li><li>・ 顧客満足度の向上</li></ul>
④人材育成DX	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 社内eラーニング</li><li>・ DX推進委員会設置</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 全社員のデジタルスキル底上げ</li></ul>

# 進捗管理

DXに関するKPIを以下のように設定し、四半期ごとに進捗をモニタリングしています。

取組分野	主な指標(KPI)	管理方法
①業務プロセスDX	<ul style="list-style-type: none"><li>・業務ミス削減率</li><li>・処理スピード</li><li>・ペーパーレス化率</li></ul>	各部門からの月次報告を集約し、進捗を分析。
②販売・顧客DX	<ul style="list-style-type: none"><li>・営業効率改善率</li><li>・成約率向上</li><li>・提案件数増加</li></ul>	SFAによる自動集計。
③製品・品質DX	<ul style="list-style-type: none"><li>・顧客満足度スコア</li><li>・リピート率</li></ul>	定期アンケートやNPS調査により顧客評価を定量的に把握。
④人材育成DX	<ul style="list-style-type: none"><li>・DX教育受講率</li><li>・改善提案数</li></ul>	DX推進委員会にて四半期ごとの進捗レビューを実施。

# 「SECURITY ACTION（二つ星）」を宣言



セキュリティ対策自己宣言

ユニオンビズ株式会社は、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）の「SECURITY ACTION（二つ星）」を宣言しています。

# DX推進のための取り組みおよび戦略

当社では、実務執行総括責任者を中心に、全社的な情報処理システムにおける課題の把握と改善を一層推進していきます。販売管理システムや品質管理システムなどの運用状況や改善事例を全社で共有することで、現場で発生する業務の滞りや効率を低下させる要因をより迅速に特定・分析できる体制の構築を目指します。

これにより、販売プロセスや業務フローの効率化、品質向上に直結する改善策の実行を加速させ、より高い付加価値の創出につなげていきます。さらに、デジタル技術とデータ活用を活かし、生産・供給体制やお客様のニーズの変化に柔軟かつ迅速に対応できる体制の確立を進め、持続的な価値創出と競争力強化を実現していきます。

ユニオンビズ株式会社

代表取締役 野々山智